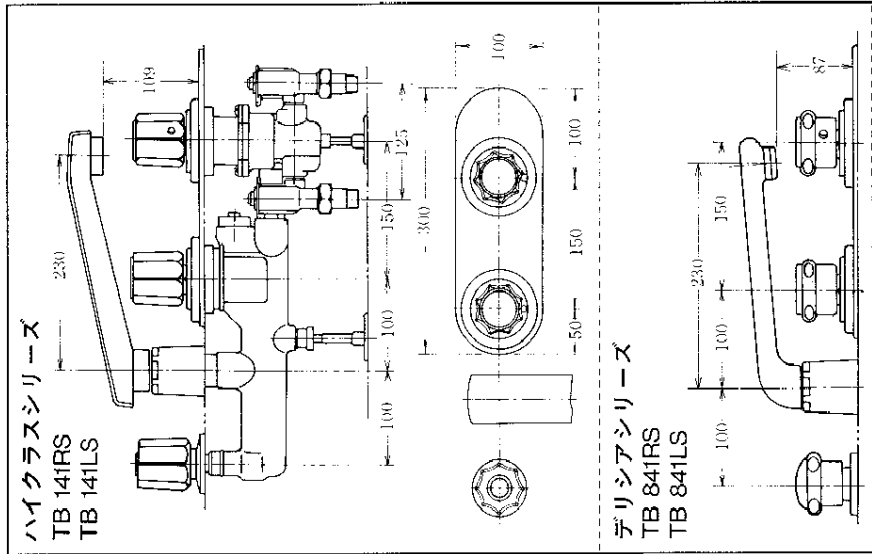
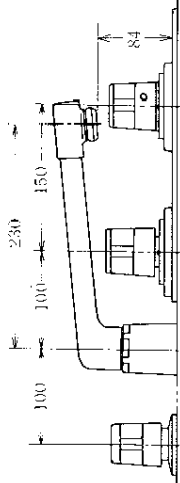


“自動みずとめ”サーモスタット混合栓取付説明書

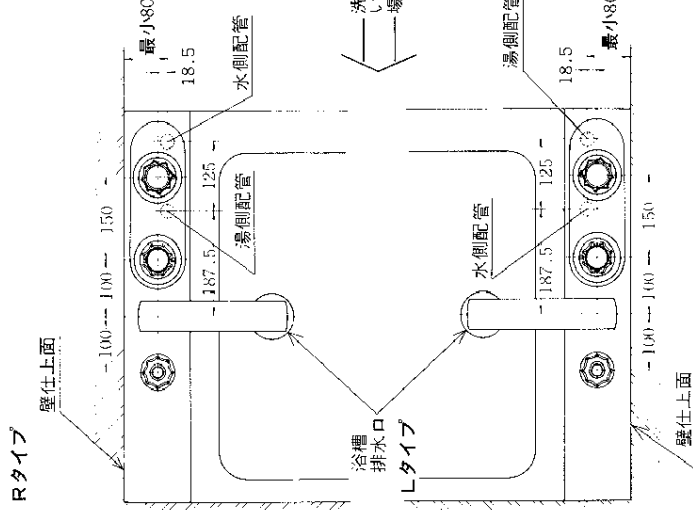
完成図



エレガントシリーズ
TB 641RS
TB 641LS



製品番号にRがついているものはRタイプ、LがついているものはLタイプです。



洗い場から見て右側に設置するものをRタイプ、左側に設置するものをLタイプとしていただきます。施工前によく確認してください。

使用条件

1. 使用水圧

(1) ガス瞬間湯沸器と組合せる場合

給水圧力 ———— { 最低必要水圧……………(表参照)
最高水圧……………0.59MPa

湯沸器号数	最低必要水圧
8号	湯沸器の最低作動水圧 +0.05MPa
10号	// +0.08MPa
12号	// +0.11MPa

能力切替式湯沸器で次の号数に切替えられる場合

8号	湯沸器の最低作動水圧 +0.06MPa
9号	// +0.07MPa
10号	// +0.08MPa

以上は下記条件を想定して求めた水圧です。

- 設定ハンドルは全開 ● 夏季水温 25℃
- 湯沸器温度調節は「高温」に設定
- 吐水温度 42℃ ● 給湯配管長 5m

(2) 貯湯式温水器と組合せる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……………0.05MPa
最高圧力……………0.59MPa

(a) 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。

(b) 給水圧力が0.59MPa (6.0kgf/cm²) を超える場合は、市販の減圧弁で0.20MPa (2.0kgf/cm²) 程度に減圧してください。

2. 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。ただし約70℃以上の温水は出ないようになっています。

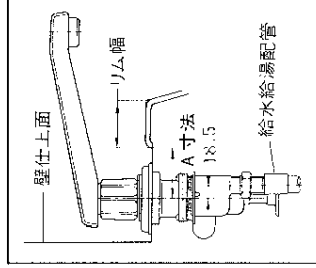
3. 給湯に蒸気を使用しないでください。

4. 湯・水を逆配管しないで行ってください。
 なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

下 準 備

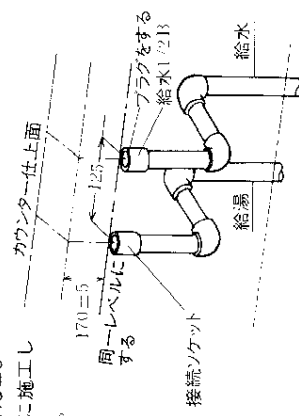
1. 取付位置の決定

浴槽種類	浴槽リム幅	浴槽リムとすき間の寸法 A寸法
FBS1200 FBS1300他	70	60~130
PWM1080 PWM1092R/L他	90	50~110
PWM1190 PWM1192R/L他	100	60~100
PWM1290 PWM1292R/L他	110	60~90



2. 給水・給湯配管

接続ソケット上端とカウンター仕上面までの寸法が170±5mmになるように施工してください。



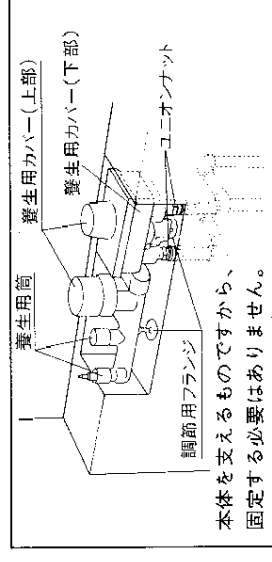
器具の取付け

1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみや砂などを完全に洗い流してください。

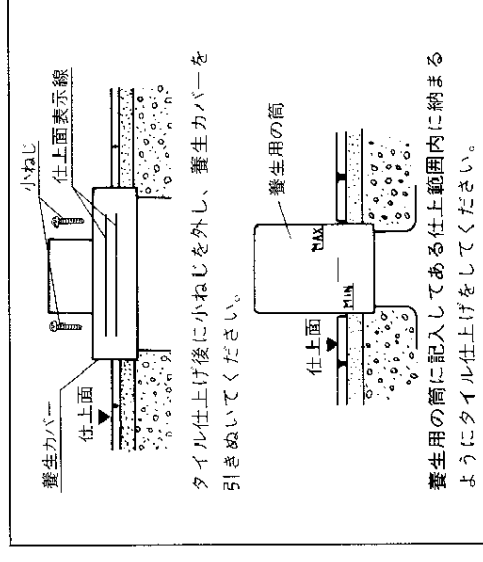
2. 器具の接続

調節用フランジ(2カ所)(2カ所)でカウンター仕上面とのレベル調整したのちユニオンナットを締付けてください。

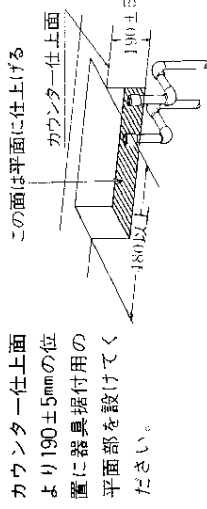


3. 埋込配管部に通水して器具接続部分からの漏水の有無を点検してください。

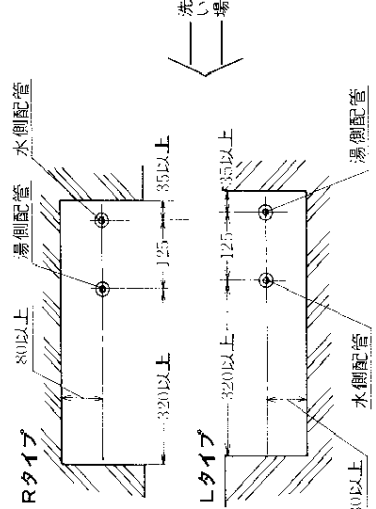
4. タイル仕上げ



養生用の筒に記入してある仕上面内に納まるようにタイル仕上げをしてください。

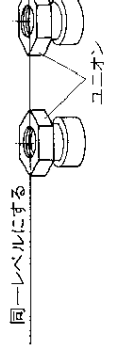


下図寸法は器具取付けのために必要な最小スペースです。



3. ユニオンの接続

プラグを取外し、同梱のユニオンを接続してください。



温度調節

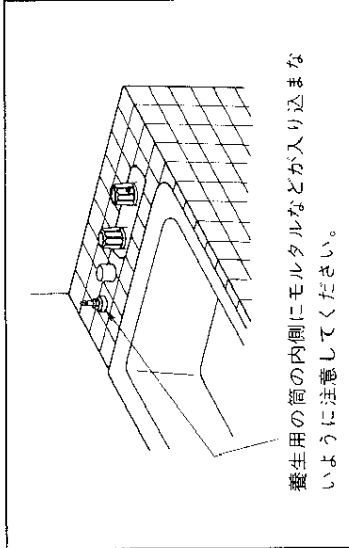
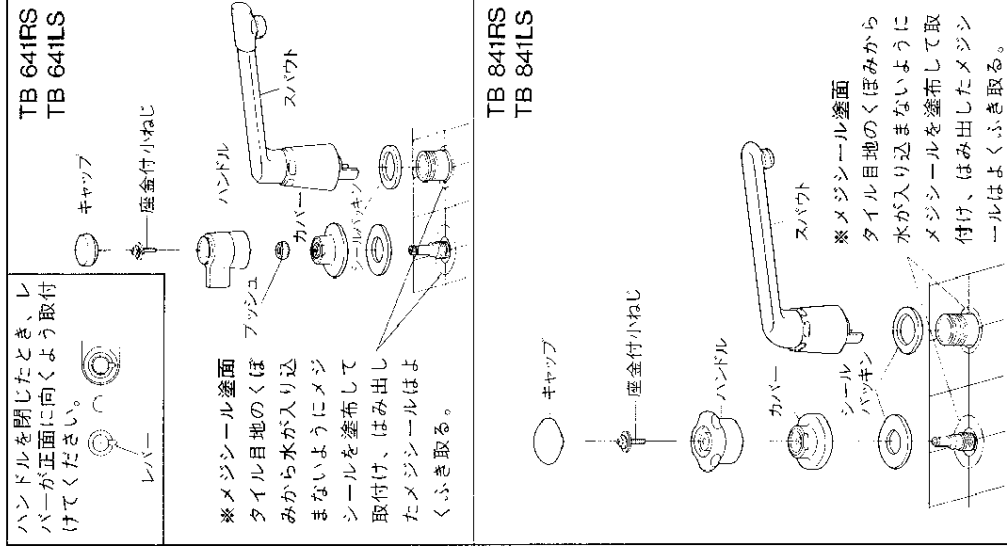
工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、目盛通りの吐水温度にならない場合があります。その場合は、「ご愛用のしおり」の温度調節の方法(9ページ)をご参照になり温度調節を行ってください。

最大設定量の調節

この器具は目盛300(約300L)まで設定できますが、浴槽の適量目盛以上、設定ハンドルが回らないように最大設定量の調節をすることができます。お客様のご希望で最大設定量の調節をするときは、「ご愛用のしおり」の最大設定量の調節方法(7、8ページ)をご参照ください。

ストレーナの掃除 お手入れ

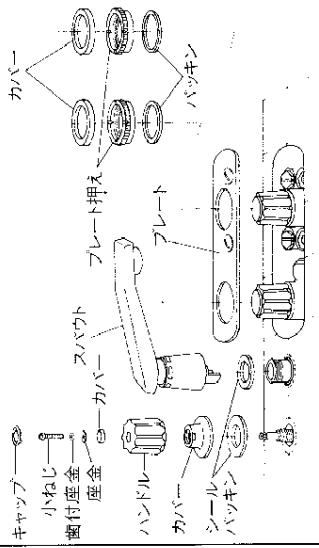
ストレーナがつまると流量が少なくなったり水又は熱湯しかでなくなると十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。
「ご愛用のしおり」の10、11、12ページを参照してお客様にストレーナの掃除及びお手入れの方法、止水栓の位置と操作方法をご指導ください。



5. ハンドル・スパウト・カバーの取付け

TB 141RS
TB 141LS

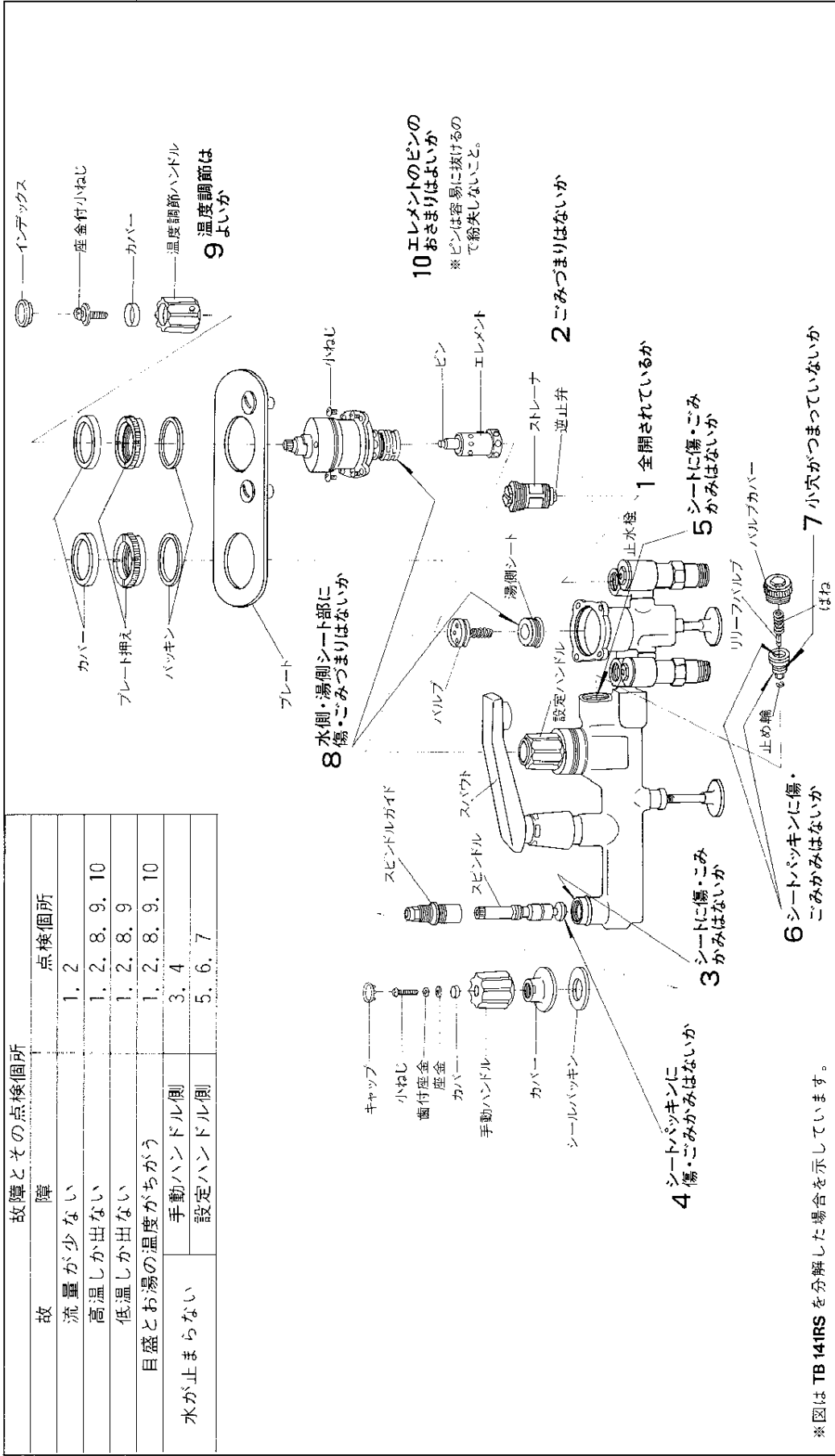
※メジナル塗面
タイル目地のくぼみから水が入り込まないようメジナルを塗布して取付け、はみ出したメジナルはよくふき取る。



分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障	点検箇所
流量が少くない	1. 2
高温しか出ない	1. 2. 8. 9. 10
低温しか出ない	1. 2. 8. 9
目盛とお湯の温度がちがう	1. 2. 8. 9. 10
水が止まらない	3. 4
	5. 6. 7



※図は TB 141RS を分解した場合を示しています。

※同梱のご愛用のしおりは、必ずお客様にお渡しください。
手渡できない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。